

追悼と明日に向けて里山会議



7月5日に旧里見小学校において第22回目の南原里山会議が開催されました。官民合わせて過去最大の41団体126人が集まりました。

まず最初にこれまで南市原の里山活動に多大な貢献をされたお二人の追悼のため、献花

と献儀がさげられました。一人は石神菜の花会会長だった金子善男さんと、休耕田を整備し2010年に仲田一面の菜の花畑を出現させ、100台もの駐車場の整備にも貢献しました。またもう一人は市原市写真連盟委員だった加賀浅吉さんと、飯給駅周辺の整備に尽力されました。これらでほぼ10年ほどの南原の里山活動においてお二人のご活躍は多大でした。心からお悔やみ申し上げます。

会議では小湊道の石川社長から「温故知新で里山」

加茂里山通信

令和元年
夏号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集委員 征矢貫造
編集長

7月には旧暦で文月と言いますが、他にも女郎花月(おみなえし)つき、七夕月、そして涼月と言います。7月が涼月で、6月が水無月とほまるでわざと反対の意を含んで言っているようですが、現在の太陽暦と旧暦の太陽暦とではほぼ1ヶ月ずれているのでそのままには受け取れません。しかし今年には梅雨し、梅雨で、青空をほとんど見ることがない日が続く。これではそれこそ涼しい月7月です。おかげで紫陽花は鮮やかなままに持続していますが、例年20日前後を境に梅雨が明け本格的な夏の到来となりますから、日差しが強い暑い日々ははじまっています。

加茂師団大会



加茂地区模法大会で6分団が優勝しました。久しぶりの優勝の喜びに朝生原、戸面、石神各町会が盛り上がりました。大会が終わり、優勝の実感もわかないまま、祝勝会が始まりました。

できる時にできることをする。などの里山活動に関する熱い思いが語られました。また市役所関係から、来年開催されるアートミックスのことや、菜の花の種まき、いちほらまつりサポート制度、市原市観光地域づくり事業費補助金についての説明がなされたり、盛りだくさんの内容でした。



(里山通信編集部)

た。優勝に慣れていない6分団でしたが、OBの方々や町会の方々のサポートのおかげで、無事に祝勝会を終えることができました。皆さんが自分のことのように一緒に喜んでくれたことが、何よりうれしく思いました。

祝勝ムードが収まらないうちに、支部大会に向けて加茂分署での練習が始まりました。加茂分署での練習には白鳥地区の分団はもちろん、他地区の分団も応援に駆けつけてくれました。優勝に慣れていない6分団は大勢の方々のサポートのおかげで、無事に練習を乗り切り、6月24日の支部大会に臨むことができました。3位という結果に終わりましたが、地区や年代を超えて、結束力を高めることができたことが月間でした。皆さま応援ありがとうございました。



他分団が優勝した時には私たちが優勝した分団を支え、後輩が優勝した時には一緒に喜べるようになったと思います。

応援ありがとうございました。来年も頑張ります！
(高橋里山通信員)

加茂分署での練習には白鳥地区の分団はもちろん、他地区の分団も応援に駆けつけてくれました。優勝に慣れていない6分団は大勢の方々のサポートのおかげで、無事に練習を乗り切り、6月24日の支部大会に臨むことができました。3位という結果に終わりましたが、地区や年代を超えて、結束力を高めることができたことが月間でした。皆さま応援ありがとうございました。

次回は10月25日発行予定です。情報提供、取材依頼はお近くの通信員へ。メールでも受け付けます。

記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。
市原商工会議所
0436(22)4305 担当 藤田
Eメール t.fuji@tai.coi.or.jp

加茂のみんなが君たちをまっていたよ!



担任の先生より
いろいろなものを吸収している一年生、これらの活躍が楽しみです。

加茂学園1年生です!



4月、今年有加茂学園に14名の加茂っ子たちが入学しました。元気いっぱいの子どもたちは、毎日教室や校庭に元気に声を響かせる姿が印象的です。

入学して3ヶ月、すっかり学校にも慣れ、できることも増えてきました。4月には鮎の放流体験をしました。五月の体育祭では、ダンスをしたり、上級生と仲良く走ったりしました。六月には、二年生とクオードの森で生き物探検をしました。さらに、今年にはプログラミング学習にも挑戦しています。

加茂学園は今



1年生から9年生の16名が一緒に練習している様子です。

「獅子奮迅」挑め「赤青の挑戦状」のスローガンのもと、5月25日(土)澄み渡る五月晴れの中開催されました。当日は、猛暑が心配されましたが、休憩や水分タイムを所々を取り、一杯一杯がんばる姿が見られました。

加茂学園は小中一貫教育校として誕生し、今年で7年目になります。また、新元号「令和」初ということもあり、栗谷戸ト子を新たに作成しました。また、暑さ対策として、応援席にミニシャワーも設置しました。

応援団長から一言
1から9年生が団結して、両団とも個性があらわれる体育祭になりました。自分も個性があらわれる体育祭にしたいです。自分も個性があらわれる体育祭にしたいです。



二泊三日の修学旅行

5月8日から二泊三日で9年生の修学旅行が実施されました。10連休明け、体育祭前の忙しい期間でしたが、天気に恵まれた旅行日和でした。

行き先は京都・奈良方面で、別行動を中心に出かけました。宿泊先の食事などもおいしかったと生徒達から聞きました。

この経験を胸に、卒業式まで加茂学園を引っ張るお

加茂学園は小中一貫教育校として誕生し、今年で7年目になります。また、新元号「令和」初ということもあり、栗谷戸ト子を新たに作成しました。また、暑さ対策として、応援席にミニシャワーも設置しました。



昭和三十九年の修学旅行

8月10日(土)
18:30~20:30
市原市万田野73番地6
社会福祉法人 昭和三十九年
社会福祉法人 昭和三十九年
万田野万友会

かき米 水ヨーヨー・飲食物(ファンアルコール・ジュース類)無料
豪華景品の抽選会も行います

編集後記



雨の多いこの時期は草も伸び放題で、草刈りしてもすぐにまた草は伸びてきて、何度やらなければなりません。車でこのあたりを走っても田んぼの周りなど、いつも草刈り機の音がします。伸びすぎてからは大変なことをみんな分かっています。田んぼ周りに別にして、畑や芝地の草は集めて重ねておく肥料になります。見事なりサイクルで、そんなことをしている無駄なことはないかなど思うことがあります。近所でもいも畑に手を入れている人はそうしたことをご近所の方に行っているいい野菜をいっしょに作っています。

房総・養老深谷の地酒お土産は
養老深谷駅前
角屋商店
養老深谷観光協会窓口
市原市朝生原181
TEL0436-96-1108
FAX0436-96-0052

愛車のある幸せな暮らし
応援します!
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL0436-96-0482
FAX0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
バス釣り絶好調!
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277

里山芸術祭にむけて

印象に残っているもの

過去2回のいちほアートミックスで最も印象に残っているのは、展示されている作品よりも生身の人間がそこ何かしているものでした。白鳥公民館で見た生演奏や土付き無声映画、映写野鳥劇や野良養蚕の和楽器演奏団のハフオアシスなど、人がそこにいて非日常的なことをしているものでした。普段ではあり得ないことが目の前に展開している状況というのは何か心躍るものです。そして強く印象に残ります。

また、自然のなかに突如人高的なものが作られていくのが、

里山からの発信



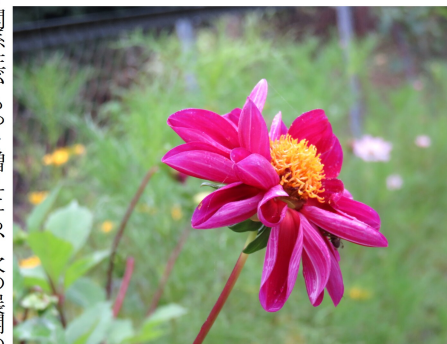
現している時も強い印象を残します。宮城真のレポート芸術祭では、牡鹿半島の先端に近い丘の上で金龜山をバックに展示された、いた草間彌生の作品、道から標高差のある海岸まで降りて初めて目にした作品などがあつてした。

いちほアートミックスではこれまで廃校を利用して1教室1作家作品のようなものが多かったのですが、それぞれが違うものなのに、こゝか画一化された感が出て、印象が薄かった気がしています。次に繋げるためにも、加茂の里山を縦横に使った意識を長く残るような印象深い作品のあるいちほアートミックスであることを期待したいと思います。

地域の人のつながり

森アオステーションは作家と地域の人たちの繋がりであり、繋がりを保つていく管理が必要で、地元を中心とした森遊会という組織と作家の木村崇人さん、菜の花プレイアーズとでメンテナンスを行っています。

作家と地域の人とのつながり、この関係性がもっと増えたら、次の展開の可能性が生まれ、この芸術祭はもっとスケールの大きな、たゞさんある芸術祭の中でも注目されるものになるのではないかと思います。



率直な思い

市原商工会議所の中にアートミックス特別委員会が立ち上がりました。これは会議所の側から側面支援というふうにする組織です。

この最初の会合の、その時説明にいられた芸術祭推進の方たちとの意見交換会で、「こゝが玄関口なのかわからない。メイン会場はどこなのか?」などの率直な質問も出ました。この疑問はごく一般的なものだと思っています。市内の人間も会場となる地域にいる者と会場から離れた地域にいる者とは、背景関わり方や関心度合いが違います。市外の人であればなおさらです。市外の人には市原市のことをよく知らないし、関心もないというのが最近のある調査で分かりました。そこで行われる芸術祭のことも一般的にはそれほど知られていないし、「こゝに行ったらいいのか」という思いも当然のことかとも思います。

そういう人たちにも来てもらうため、今回は今までは違う層に戦略を立てているとこのことです。その成果も期待したいと思えます。

(征矢里山通信員)

里山の夏の御馳走

瓜の鉄砲漬け

7月に入り、畑の瓜が収穫できると、夏の定番、瓜の鉄砲漬け、作業開始です。瓜と一緒に青唐辛子、青シソを用意します。きれいに洗った瓜は両端を切り落とし、竹べらなどで種の部分を抜き取ります。青唐辛子と青シソでまき、塩を振りまきます。瓜の中にシソをまいた唐辛子を入れて、塩を振った桶に並べていきます。瓜がひと並びしたら塩を振り、また瓜を並べます。平らに並べたら重しを乗せ、重しを乗せ



朝には水が上がるので重しを軽くします。残った青シソと青唐辛子を細かく刻んで、ツナ缶味噌を混ぜ皿に盛り、オリーブオイルで15分焼くと、「青シソの焼き味噌」の出来上がり。暖かい飯と一緒におぼると、加茂の夏の味が口に広がります。採れたてのインゲンのお漬物は暑さ退いていただきます。

(大曾根里山通信員)

こゝもと紀行

養老川アユ釣り大会

今年で14回目を迎えた、養老川アユ釣り大会が6月23日に開催され、20人を数える腕白さんが参加しました。優勝されたのは、大多喜町の正木さんと上野の彦坂さんで釣果は18尾、両氏とも弘文洞の下流の中瀬で釣り上げたのでついでです。

今年には約11万尾のアユの稚魚を放流したのですが、2回の増水と水温がまだ上がらないせい、また魚影は少ないそうです。優勝した正木さんによれば「これから水温が上がればアユも成長するし、数も出てくるんじゃないかと思う。楽しみです」と期待を込めておっしゃっていました。

(大曾根里山通信員)



学校の活用について

昨年の暮れに、旧高瀬小、旧富山小、旧里山小、旧白鳥小、旧平三小を対象に、学校跡地の活用について民間事業者のアイデア募集を始めましたという、市の公益資産マネジメント推進課からのチラシが回覧されました。市南部の閉校した学校は、校舎の耐震不足や老朽化等の課題が生じており、民間事業者の資金や活力により、課題を解決して施設が活用できるか、その可能性を探るためアイデアを募集するとの内容でした。今年の3月15日を締切として、地域振興、交流

加茂の里山にホタル舞う



少しずつ行事の開催時期がずれている中で、土敷谷里山の会のホタル観賞会は、6月第2土、日曜日と決めている。ホタルの確認出来る時期が5月の終盤からとなっているからだ。

今年は里山メンバーとしていろいろ作業内容等を顧みたり、いつものように草刈りをして、いつものように水路掃除をした。カワナが多く繁殖しているだろうか。クレンソウはどうか。例年とどこが違うところがあるだろうか。

今までの違いはまず2月頃に周辺の草木を丁寧に刈ったこと。次に水回りの整備をしたこと。そして5月に入ってから作業になってしまったが、奥の山際に沿って水を流すことが出来るようにパイプを強化した。思い立った事は行動に移すのが里山メンバーの

作業内容となっている。結果どう出るかは、誰にも分からない。気候、気温、天候によって、それは変わる。例年は寒く、いつの間にかホタルが飛んできるといふから、里山でしている目が続く。今年も個体の大きなホタルが小屋の下に現れ始めてくれた。草むらの中ではなく、水路が開放された事が良かったように思う。

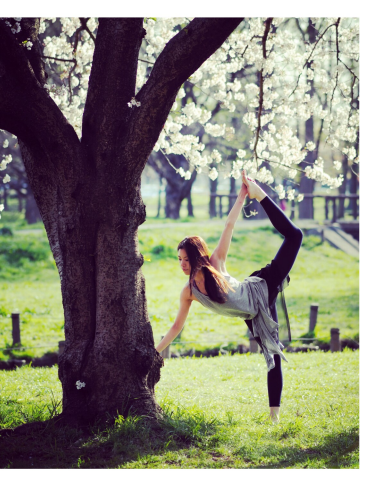
今年のホタル観賞会の参加者は日開合わせでも30名ほどだった。毎年、偶然にホタル観賞会の準備を見て立ち寄る方がいる。市外の方もいてびっくりする。今度の発見はホタルは雨が降っていても活動をめげず飛び回っていたこと。木の下を飛び回ったり、小屋の中に入ってきり、なかなかの光景を見せてくれた。

これからは里山の整備を続け、古来のホタルが住みやすい場所となるように活動していこうと思。

(大曾根里山通信員)

地域おこし協力隊

新規隊員自己紹介



皆さんこんにちは！この度市原地域おこし協力隊員に任命された、堀エミと申します。「エミ」という珍しい名前ですが本名ですので、ぜひ「エミちゃん、エミちゃん」など、親しみを込めて呼んでください。

市原市に来る前までは主に都内でヨガ講師を14年ほどやっており、プロ野球選手から高齢者、お子さままで幅広く教えました。ダンスも大好きで趣味で長年やっています。10年ほど前に母が養老溪谷エリアに住み始めたのをきっかけに市原市と縁ができています。

長年国内でも課題となっている「地方の過疎化・後継者不足」などに対して人々の関わり合いを深める特色を持つヨガを生かせるのではないかと考えており、特に市原市南部の自然豊かな山間部や古民家等で、地元の方々も他県や都市部の方も一緒に交流しながらヨガを楽しまれる企画を開催できれば良いなと思っています。

皆さんどうぞよろしくお願ひいたします。

(堀 エミ)

加茂ふれあいクラブ

平成23年3月に人口5000人余りの典型的な過疎地区の加茂に、総合型地域スポーツクラブ「加茂ふれあいクラブ」を

「きれいな水、豊かな緑、心ふれあう人々全員参加で、生き生き加茂づくり」をスローガンに加茂地区の活性化推進するため、スポーツ・文化を通して「相互依存、協働」による互恵性の高揚により、生活の楽しみ方の多様性と健康増進(心身体)及び地域コミュニティづくりを実施して行事を掲げ立ち上げました。8年目を経過しても現在、80名の会員で活動しています。

活動拠点は、加茂公民館、加茂運動広場、及び小中一貫で閉校となった校舎を借用しています。

教室はサッカー、バドミントン、グラウンドゴルフ、スナックゴルフ、健康体操を開設しております。また、イベントは大会、バスハイイク交流夜会、軽スポーツ等を実施して、會員及び會員との交流を図っています。



平成31年度事業内容(教室・イベント)

バドミントン教室・毎週火曜日

加茂公民館19:00~21:00

サッカー教室健康体操教室・隔週土曜日

加茂公民館19:00~21:00

人と環境が一体となって大切な未来へ

自然環境と人間との調和を目指して

杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311

市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511

南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>

グラウンドゴルフ教室、スナックゴルフ教室、隔週土曜日

旧富山小学校・加茂運動広場9:00~11:00

スナックゴルフ大会:7月7日、加茂運動広場

グラウンドゴルフ大会:9月22日、文化の森ふれあいフェスタ:7月14日、12月15日、加茂公民館

ソフトボール大会:11月17日、加茂公民館

ウオーキング大会:6月30日、3月8日

お問い合わせは電話連絡先をお願いします。

(加茂ふれあいクラブ)会長 杉田政行

連絡先

杉田	090	4813	7300
鎌滝	090	8745	8732

みんなあつまれ! きみも、まもる。きまろ。みんなあつまれ! きみも、まもる。きまろ。

7月に入り、畑の瓜が収穫できると、夏の定番、瓜の鉄砲漬け、作業開始です。瓜と一緒に青唐辛子、青シソを用意します。きれいに洗った瓜は両端を切り落とし、竹べらなどで種の部分を抜き取ります。青唐辛子と青シソでまき、塩を振りまきます。瓜の中にシソをまいた唐辛子を入れて、塩を振った桶に並べていきます。瓜がひと並びしたら塩を振り、また瓜を並べます。平らに並べたら重しを乗せ、重しを乗せ



朝には水が上がるので重しを軽くします。残った青シソと青唐辛子を細かく刻んで、ツナ缶味噌を混ぜ皿に盛り、オリーブオイルで15分焼くと、「青シソの焼き味噌」の出来上がり。暖かい飯と一緒におぼると、加茂の夏の味が口に広がります。採れたてのインゲンのお漬物は暑さ退いていただきます。

(大曾根里山通信員)